

令和2年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和元年度分)

大江町教育委員会

目 次

I	大江町教育委員会事務事業の点検評価について・・・・・・・・・・	P1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見の活用	
II	教育委員会等の活動状況・・・・・・・・・・	P3
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会協議会の開催	
	3. 会議以外の活動	
III	外部評価委員の意見・・・・・・・・・・	P6
IV	施策の体系（大江町教育振興計画）・・・・・・・・・・	P9
V	点検・評価調書一覧・・・・・・・・・・	P10
	【事務事業別点検・評価調書】	

I 大江町教育委員会事務事業の点検評価について

1 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、この点検・評価を行なうにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、大江町教育委員会では、効果的、効率的で開かれた教育行政の推進に資するため、平成 22 年度より前年度の事務事業について、3 名の外部評価委員（大江町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

大江町教育委員会では、平成 27 年 3 月に「共に学び合い 高め合い 生かし合う 心豊かな人づくり」を基本理念とした第 2 次大江町教育振興計画を策定し、「時代を生き抜く力を創る共生教育の推進」、「生きがいと活力を創る生涯学習の推進」、「うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進」、「健康と元気を創る生涯スポーツの推進」という 4 つの基本目標を掲げ、相互に連携しながら各種教育施策の推進に努めております。

今回は、令和元年度におこなった主要な事務事業について点検・評価を実施するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ない、その結果に対する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行なうに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和元年度において教育委員会が所管し実施した主要な事業（23 事業）を対象として選定しました。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」・「効率性」及び「有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」・「継続」・「縮小」・「見直し」及び「休廃止」に区分し、点検・評価を行い「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行なった点検・評価について、その客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（大江町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただくこととしています。

◇大江町教育事務評価委員

村 上 雄 一、 小 國 利 宏 、 松 田 澄 子

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名		
4月26日	定例	1	大江町社会教育委員及び大江町文化財保護委員会委員の委嘱について		
		2	平成31年度要保護及び準要保護児童生徒について		
5月31日	定例	3	大江町立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		4	大江町立公民館等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		5	大江町町民ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		6	大江町立歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		7	大江町社会体育施設の設置、管理及び使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		8	大江町健康増進センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		9	大江町ふるさと奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について		
		10	大江町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について		
		7月30日	定例	11	令和元年度大江町教育事務事業点検・評価報告書（平成30年度分）の案件について
				12	令和2年度使用小学校用教科用図書および令和2年度使用中学校用教科用図書の採択について
8月29日	定例	13	令和元年度大江町教育事務事業点検・評価報告書（平成30年度分）について		
		14	大江町教育費予算（令和元年度一般会計補正予算（第2号））に対する意見の申出について		
11月26日	定例	15	大江町教育費予算（令和元年度一般会計補正予算（第3号））に対する意見の申出について		
		16	令和元年度準要保護児童生徒の認定除外について		
2月28日	定例	17	令和元年度大江町教育費予算（令和元年度一般会計補正予算（第5号））に対する意見の申出について		
		18	令和2年度大江町教育費予算（令和2年度一般会計予算）に対する意見の申出について		
		19	大江町社会体育施設の設置、管理及び使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		

		20	大江町立公民館等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		21	大江町立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		22	大江町町民ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		23	大江町立歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		24	大江町健康増進センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		25	令和元年度大江町教育委員会表彰について
3月9日	臨時	26	令和2年度大江町立小中学校教職員人事異動内申について
3月27日	定例	27	「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する方針」について
		28	令和2年度大江町教育委員会職員の人事異動について
		29	令和2年度要保護・準要保護の児童生徒の認定について

2 教育委員会協議会の開催

開催回数 6月28日、10月3日、10月31日、12月26日、1月30日 5回
 内 容 教育長報告及び今後の日程などについて

3 会議以外の活動

(1) 学校訪問（令和元年度）

実施日	実施校	実施日	実施校
6月10日（月）	藤田の丘分校	6月17日（月）	本郷東小学校
7月10日（水）	左沢小学校	7月9日（火）	大江中学校

(2) 大江町総合教育会議の開催

日 時 12月13日（金）午後3時～
 内 容 ①今後の町の教育振興に向けて
 ②第3次教育振興計画について
 ③その他

(3) その他の主な活動

- 4月 8日 (月) 大江町小中学校入学式
- 5月 15日 (水) 大江町小中高 PTA 連絡協議会総会
15日 (水) 大江町小学校陸上大会
- 6月 2日 (日) あじさい手づくり工芸まつり
8日 (土) 左沢小学校相撲大会
28日 (木) 西村山市町教育委員会連絡協議会
総会・研修会 (大江町中央公民館ほか)
- 7月 2日 (火) 大江町小学校水泳大会
5日 (金) 東北六縣市町村教育委員連合会・研修会 (郡山市)
- 8月 2日 (金) 山形県市町村教育委員大会 (酒田市)
14日 (水) 大江町成人式
24日 (土) 大江中学校躍動祭 (運動会)
- 9月 7日 (土) 小学校運動会 (左沢小学校、本郷東小学校)
- 10月 9日 (水) ~11日 (金) 全国文化的景観地区連絡協議会 大江大会
12日 (土) 60周年記念コンサート
13日 (日) 大江町縦断駅伝競走大会 (中止)
- 11月 2日 (土) ~4日 (月) 大江町文化祭
8日 (金) 大江町小中高 PTA 連絡協議会秋の研修協議会
10日 (日) 西村山地区駅伝競走大会
- 12月 13日 (金) 総合教育会議
- 3月 16日 (月) 大江中学校卒業式
18日 (水) 町内小学校卒業式

前年度（令和元年度事業分）

Ⅲ 外部評価委員の意見

1 教育委員会活動全般について

- (1) 町民の教育・文化活動・社会教育活動・体育振興活動全般に関して、適切な事務事業および予算執行がなされていると感じます。今後も新たな第3次大江町教育振興計画にのっとり、本町の課題である少子高齢化と人口減少対策、また交流人口の増加を目指す等、教育事務事業の方針を明らかにし、ますます住みよい町づくりに貢献していただきたいと思います。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度の後半は多くの事業に影響がございましたが、第2次教育振興計画は概ね達成され効果が得られていると思います。
- (3) 大江町は子育てしやすい町だとは思いますが、少子高齢化や核家族化が進行する昨今、世代間の交流が難しくなっているように感じます。教育委員会の事業についても、内容が子どもと高齢者に偏ることなく、すべての町民にとってより良いものになるようお願いいたします。

2 学校教育活動について

- (1) 教育活動推進事業については、新学習指導要領による英語、道徳、プログラミング教育などに対する取り組みがなされており、特に国際理解教育の取り組みは素晴らしいと感じます。昨年度初めて実施したTGGでの語学研修をとおして、英語にさらに興味を抱いた生徒が多いと聞いていますので、ぜひ継続して実施してほしいと思います。またQU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）は、学級での子どもの様子を見るためには有効ですので、継続して実施するようお願いいたします。
- (2) 子育て支援策を充実させて人口増加を図る施策が多くの市町村でおこなわれています。本町でも現在は中学生と小6が給食無償化されていますが、「子育てしやすい大江町」の目玉として小1～小5の無償化も希望します。
- (3) 教育相談事業については、相談しやすい環境づくりと、相談のあった事案に関しては定期的に面談を実施するなど、今後もサポートを充実させていただきたいと思います。特に新型コロナウイルスの影響により、長期休業が続くなどして学校に行けなくなる児童もいて、今後相談が増えることも考えられますので、適切に対応していただきたいと思います。
- (4) 大江中学校の部活動の結果については、町民がとても関心を持っています。大江中学校にも部活動指導員が配置されていると聞き、うれしく思うとともに、今後も大江中の各部活動について強力な支援をお願いしたいと思います。
- (5) 第3次教育振興計画においては、ぜひSDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）を組み入れるとともに、学校教育の中でも取り組みをお願いしたいと思います。

- (6) 児童生徒も価値観等が多様化する中、学校教育の役割も多岐にわたる時代となり、学校での教育がより重要になると思います。そんな中ですが、評価対象とされた各事業については概ね遂行されていると感じます。
- (7) GIGAスクール構想によりタブレットの導入を進めていくわけですが、数年後には必ず更新時期が訪れます。計画的、安定的な配備をお願いします。
- (8) スクールバス運行事業については、路線拡大の要望もあると聞きましたが、中学校では自力登校を推奨しています。町の方針として、小学校も含めたかたちで全体的な再構築が必要だと感じます。
- (9) 少子化に伴う学級数の減、教職員の配置減は時代の趨勢で仕方がないとは思いますが、児童生徒も多様化する中において、せめて学習支援員等で補っている部分は正規の教職員の配置できるよう、県にも働きかけていただきたいと思います。
- (10) 左沢高校に様々な支援がなされていますが、バスの無料化も検討するなど、高校存続のため町としても大いに支援していただきたい。また左沢高校との連携を密にして今後は普通科において「学際融合科」「地域探究科」を取り入れていたり、中国語や韓国語を選択して学べるようにしたりするなど、左沢高校独自の校風を出してほしいと思います。

3 社会教育、歴史文化活動について

- (1) 大江町の文化的景観もだいぶ浸透してきたように感じます。今後は大江のひなまつり以外にもモデルコースとして歩けるようにし、清野家、富士屋等の見学ができるような企画があればいいと感じます。
- (2) 左沢楯山城跡保存整備についても、年を追うごとに形になっていくのが楽しいです。駐車場の整備等についてもよろしくお願いします。また「日本一公園」の呼称をもっと広げるとともに、ビューポイントの広報、看板設置等をもっとしてはいかがでしょうか。
- (3) ぷくらすカレッジを中心とした生涯学習事業については、魅力的で参加者も多く、町民の評価も高いと感じます。しかし図書館については、子どもたちの読書離れが問題視される中であって、幼少の頃から図書とふれあい、持続して本に親しめるようなプログラムの構築が必要だと感じています。
- (4) 全国文化的景観地区連絡協議会の大江大会は、全国から参加者に来町していただき今後の発展につながる大会でした。その中で、おもてなしの大江町をうまくアピールできていたと思います。ただ、全国的に貴重な本町の文化的景観を後世に引き継いでいくためには、いま何をしなければならないのかを考え、計画的に進めていくようにお願いします。また、大江町民はもちろん、初めて来た方にも分かりやすい統一感のある景観サインの事業実施に早期着手していただきたいと思います。
- (5) 左沢楯山城跡や重要文化的景観事業については、しっかりと保存整備に取り組んで魅力ある町を創るとともに、地域活性化につなげていってほしいと思います。

4 体育振興活動について

- (1) 大江町体育協会は、その事業をとおして地域の絆を深めるという意味で、他市町村にはない大きな役割を果たしています。この活動はこれからも続けていただきたいし、さらなる活躍に期待しています。しかし一方で、4大事業（ソフトボール、舟唄マラソン、縦断駅伝、綱引き）の継続が主となっているような気がするので、本来の目的である加盟団体の育成にも大いに力を注いでいただきたいと思います。
- (2) スポーツクラブO-STEPの活動は、健康維持はもちろん人と人とのつながりを育てているような気がします。これからの課題としては、より多くの年齢層の参加が得られるかどうかだと思いますので、子どもから年配の方まで一緒にできる講座なども考えてほしいです。例えばソフトバレーボール等は特に技術も必要なく、すべての年代で楽しめるものですので、新たな方向性として模索していく必要があると感じます。
- (3) スポーツ少年団については、少子化に伴って広域的に組織していかないと成り立たなくなっていくと感じますので、西村山地域全体の問題として考えていただきたいと思います。
- (4) 今後については、大江町スポーツ振興計画を確立して、5年後10年後の大江町の未来のスポーツの姿を描いていただきたいと思います。

第2次 大江町教育振興計画 体系図

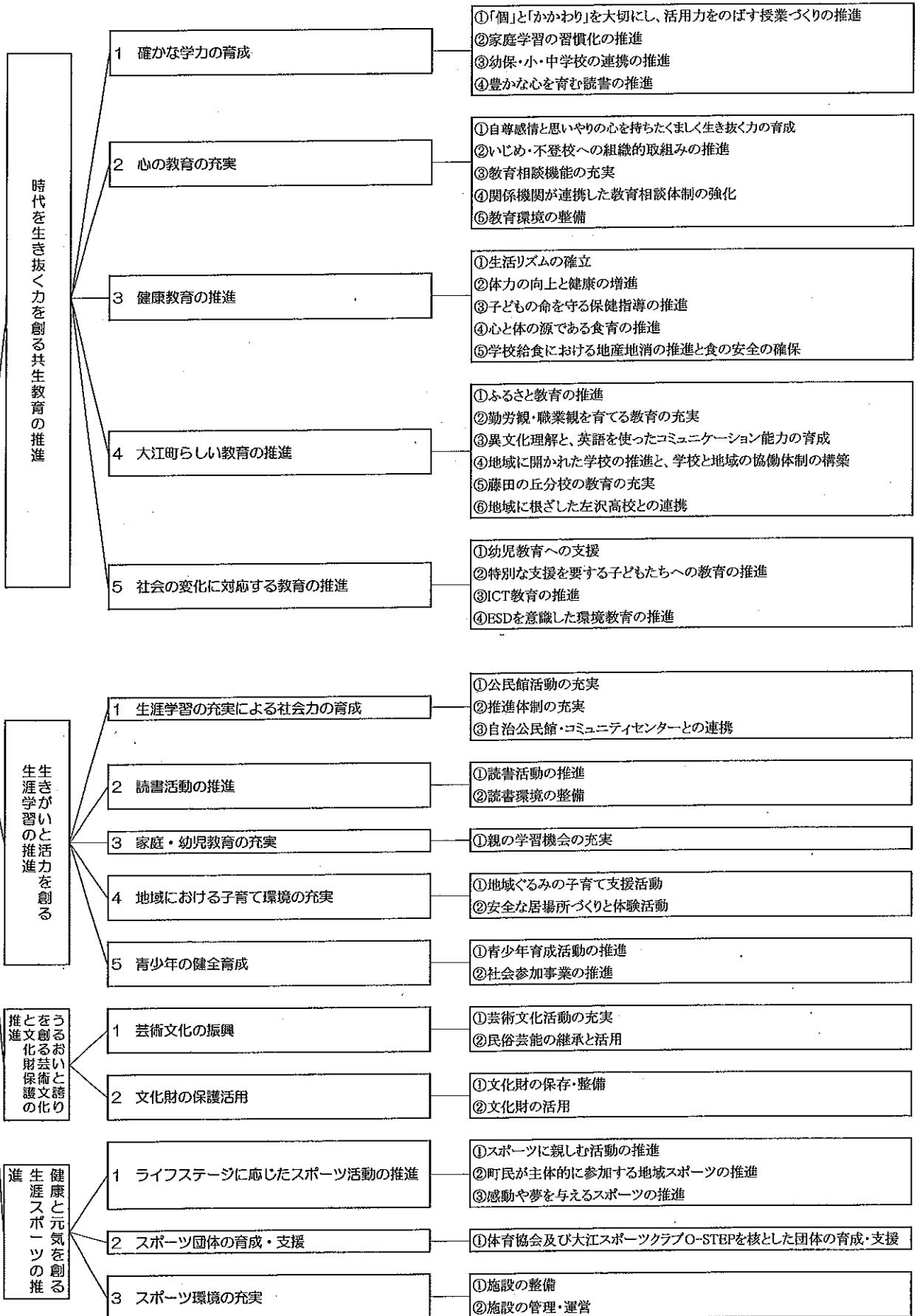
理念

基本目標

施策

項目

共に学び合い 高め合い 生かし合う 心豊かな人づくり



令和元年度分 大江町教育事務事業点検・評価調書一覧

区分	施策体系	事務事業名	担当係	頁
時代を生き抜く力を創る共生教育の推進	1-1-①	小中学校運営事業	学校教育係	11
	1-1-①	教育活動推進事業	同	12
	1-2-③	教育相談員配置事業	同	13
	1-2-⑤	小学校施設整備事業	同	14
	1-2-⑤	中学校施設整備事業	同	15
	1-2-⑤	スクールバス運行事業	同	16
	1-2-⑤	就学支援事業	同	17
	1-3-③	学校保健	同	18
	1-3-④・⑤	学校給食	同	19
	1-4-③	国際相互理解推進事業	同	20
	1-4-⑥	左沢高等学校支援事業	同	21
	1-5-①	幼稚園就園奨励事業	同	22
	1-5-②	学習生活自立支援事業	同	23
創る生涯学習の推進 生きがいと活力を	2-1-①	公民館管理運営事業	社会教育係	24
	2-1-①・②	生涯学習推進事業	同	25
	2-2-①	読書推進事業	同	26
	2-4-②	放課後子どもプラン推進事業	同	27
	3-1-①	芸術文化振興事業	同	28
文化財保護の推進 創る芸術文化と文 化財保護の推進	3-3-①	文化財保護事業	歴史文化係	29
	3-3-①	左沢楯山城跡保存整備事業	同	30
	3-3-②	文化的景観推進事業	同	31
スポーツの推進 創る生涯スポ 健康と元気を	4-1-①・③	体育振興事業	体育振興係	32
	4-2-②	スポーツ団体育成事業	同	33

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校運営事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第1節 確かな学力の育成 ①「個」と「かかわり」を大切に、活用力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10:教育費 2・3:小学校費、中学校費 1・2:学校運営費・教育費振興費

2. 事業の概要

事業目的	自ら課題を見つけ、考え、解決するための力を身につけるために、共生教育の考えに基づいて学習を推進するために学習環境を維持する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に要する経常経費 ・教育に要する経費

3. 予算額・決算額

予算現額	52,448	決算額	48,146	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
学校の運営に係る経費 34,003千円 ※給食・学校医関係を除く (賃金、報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料、備品購入、負担金)				
教育振興に係る経費 14,143千円 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品購入、負担金)				

4. 事業の実施状況

左沢小学校 児童数238名 職員数32名 左沢小藤田の丘分校 児童数1名 職員数2名 大江中学校 生徒数178名 職員数24名 小学校計 男子196名 女子148名 合計344名	本郷東小学校 児童数105名 職員数19名 大江中藤田の丘分校 生徒数3名 職員数5名 中学校計 男子92名 女子89名 合計181名
--	---

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	安定した学校運営ができており、児童生徒の落ち着いたつながっている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	安定した学校運営を維持していくために、適時性の対応がなされている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	限られた予算の範囲内で、各学校が工夫して予算を効果的に執行しており、成果は得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	子どもたちに、社会を生き抜く基盤となる確かな学力と変化に対応し自立できる力を身につけるために、引き続き共生教育の理念のもと学習を推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育活動推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第1節 確かな学力の育成 ①「個」と「かかわり」を大切にし、活用力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	“共生教育”の充実を図るために、地域や家庭と連携した活動やかかわり合いながら高まる学習指導・交流学習等を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育センターを設置し、教職員の資質向上及び大江町全体の教育力向上にむけて講演会、研修会等を実施する。また、児童生徒の学力診断・知能検査を実施し、その分析を行う。 ・ 共生教育の研究や実践活動を支援する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,199	決算額	3,913	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 知能検査、NRT検査等 1,059 * 芸術鑑賞教室 400 * 図書購入 1,754 * 共生教育推進等(主に学校教育センター関係) 700			

4. 事業の実施状況

「学校教育センターの運営」 ・ 学力向上推進 * 小2～中3 教研式NRTテスト実施 * 小2/4/6中2 知能検査実施 * 小3～中3 Q-Uアンケート実施 ・ 所員全体研修(2)、共生教育推進、各研修部会研修運営 ・ 芸術鑑賞教室開催(小中各1)、読書活動推進(図書購入)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	NRT学力検査は児童生徒の学力を客観的に判断し対策を講じるために、また、Q-Uアンケートはよりよい人間関係をつくるための指針となる資料として必要である。それらの結果を活用し、共生教育の推進に努めている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	NRT学力検査やQ-Uアンケートの結果を当該学校だけでなく、町としての傾向をつかんだり、各学校で共有したりして、具体的な対応策を検討することができている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	学校教育センターでのさまざまな取り組みが、町内の学校間の情報共有や対応策の検討を共に行うことにより、町として児童生徒をどう育てていくかの一貫性をとれるようになった。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 体廃止
今後の対応	安定した学校における教育活動の実施のため、いじめ防止の観点からも、Q-Uアンケートの活用は、継続して実施していく必要がある。今後は、「カリキュラムマネジメントや主体的・対話的で深い学び」に関する研修、ICT活用に関する研修を充実させていかなければいけない。また、地域とともにある学校をめざして、地域学校協働活動の充実や町に誇りと愛情を持てるような“ふるさと教育”の一層の充実を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談員配置事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ③教育相談機能の充実	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 2:教育相談費

2. 事業の概要

事業目的	心に悩みを抱える子どもを支援するため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できる体制を構築する。
事業内容	・ 教育相談員を配置し、各種相談への対応を行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	244	決算額	242	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 教育相談員配置		242 (報償240、旅費2)	

4. 事業の実施状況

・ 教育相談員の配置	* 受付相談件数	のべ17件
------------	----------	-------

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	児童生徒や保護者の抱える悩みや課題が複雑化、多様化している中、学校だけでなく個に寄り添って相談に対応するために必要な人的配置となっている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	教育相談を行ったことにより、学校との連携が図られ課題解決の方向に向かった具体的な取り組みを行うことができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	教育相談員が、各学校のケース会議に招かれ教育相談員としての側面から具体策を提案したり、学校の対応に準じてかかわったりしていた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も心に悩みを抱える児童生徒の支援、保護者の悩みや課題への対応を行っていき、安定した教育活動を各学校が行う必要がある。そのため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みや課題に対応できるように充実させていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	計画的な施設、設備及び教材備品の整備により、児童の安心安全な教育環境の充実を図る
事業内容	○小学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品及び暖房器具等を順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	14,704	決算額	14,683	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○左沢小学校地下タンクライニング工事 2,255千円 ○左沢小学校プールフェンス更新工事 1,890千円				
○左沢小学校受水槽架台補強及び塗装工事 1,320千円 ○左沢小学校高圧気中開閉器及び高圧ケーブル交換 1,320千円				
○本郷東体育館入口ドアフロアヒンジ取替修繕等 2,354千円				
○施設用備品(食器洗浄機 他) 2,382千円				

4. 事業の実施状況

	○校舎各種工事等：左沢小(地下タンクライニング工事、プールフェンス更新工事、受水槽架台補強及び塗装工事他) 本郷小(厨房温水手洗い設置工事、駐車場フェンス修繕工事、図書室ブラインド設置工事)
--	--

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	修繕・工事については計画的または状況の度合いによって実施しているものの、施設が老朽化しているため、修繕が追いついていない状況です。また施設整備備品等を順次整備、更新することで教育環境の充実を図ることができた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕により、より安心・安全な教育環境の充実と、教材備品の整備により、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図ることができた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により児童の教育環境の充実向上と、施設整備備品の整備により基本的・基礎的な知識・技能の向上のために役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は児童の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、老朽化して不具合が生じる箇所については、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	計画的な施設、設備及び教材備品の整備により、生徒の安全・安心な教育環境の充実を図る。
事業内容	○中学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品を順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	4,270	決算額	4,177	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○電動シャッター更新工事 990千円 ○廊下床張替工事 475千円 ○校長室床改修工事 454千円 ○警備用センサー増設工事 72千円 ○水飲み場等浄水器取付工事 46千円				

4. 事業の実施状況

○工事関係：	電動シャッター更新工事、廊下床張替工事、校長室床改修工事 他
○施設用備品：	

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	修繕・工事等は計画に基づき実施しているものの、施設が老朽化しているため、修繕が追いついていない状況です。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	施設・設備の不具合箇所等については、計画に基づき実施し、より安心・安全な教育環境の充実を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	生徒の教育環境が向上し、安全な学習・生活の場が確保された。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、不具合が生じる箇所については、今後とも計画的に修繕・工事を実施していく。給水管より赤水が出るため、令和3年度は給水管の設計等を検討している。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実	予算科目	10 教育費 2・3 小・中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業内容	柳川線：本郷東小1台、大江中1台 用線：左沢小1台、大江中1台（大江中は業務委託により運行） 児童生徒の登下校及び校外授業等での送迎
-------------	--

3. 予算額・決算額

予算現額	10,313	決算額	8,944	（単位：千円 千円未満四捨五入）
(備考) 運転手賃金4,874千円 燃料費1,236千円 修繕料1,122千円 車検時役務費140千円 消耗品費325千円 公課費120千円 光熱水費25千円 委託料1,103千円				

4. 事業の実施状況

児童生徒の利用者数（延べ人数）				
柳川線	本郷東小	夏季：15名	冬季：15名	大江中 夏季：9名 冬季：11名
用線	左沢小	夏季：27名	冬季：27名	大江中 夏季：13名 冬季：19名

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	28年度より路線バスを切り離し、スクールバス専用として各校専用バスを配置したことにより柔軟な登下校が可能となっている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	小学校各1台、中学校2台配置したことによる経費分は負担が増えたが、校外活動の利便性が高まった。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各校にバスを配置したため、各校で予定が組めるようになり、管理事務に負担軽減が図られた。また、休日の部活動へのバス運行も可能となった。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ニーズに合わせて柔軟に対応できる準備を進めるとともに、バスの運転手確保が困難になってきていることから外部委託も含めて検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10:教育費 2,3:小学校費, 中学校費 2:教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の就学機会確保と、特別な支援を要する児童生徒の教育の振興。
事業内容	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍の児童生徒の保護者に対し、学用品や校外活動、給食費等に係る費用を支給し援助する。

3. 予算額・決算額

予算現額	2,845	決算額	2,238	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費 小学校1,377千円 中学校724千円 計2,101千円				
特別支援就学奨励費補助金 小学校137千円 中学校0千円 計137千円				

4. 事業の実施状況

要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給	対象児童生徒数	小学校20名	中学校10名	計30名
特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童生徒数	小学校 5名	中学校0名	計5名

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	前年度に比べ対象者数は減少したが、経済状況の低迷により就学に支援を要する保護者は多く、より必要性が増している。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がいないのは本事業の成果である。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支給額についてはほとんどの項目で7~9割の補助となっており、給食費無償化等の他事業と併せて成果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1人親世帯が増えている傾向があり急に経済的困難な世帯になるケースがある。学校や健康福祉課との連携により迅速に認定し、就学困難な児童生徒を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第3節 健康教育の推進	予算科目	10 教育費 1、2、3 教育総務、小学校、中学校 1、2 事務局費、学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒・就学予定者及び教職員の健康管理・健康保持増進を図り、もって学校生活教育の充実を図る
事業内容	児童生徒及び教職員に各種検診等を実施し、健康状態を把握のうえ事後指導を行うとともに、感染症の予防に努める。また、学校生活を始めるまえに予め、就学前児童に対し健康診断を実施し心身の状況を把握する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,277	決算額	3,938	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 児童生徒諸検診委託料 455千円 教職員健康診断委託料 635千円 各学校医報酬・謝礼 2,691千円 就学時健診診察報償 157千円				

4. 事業の実施状況

1. 児童生徒分 (対象学年、実施者数)	
①内科・歯科・眼科検診 (全学年対象 525人) ②耳鼻科検診 (小学2・4・6年及び中学2年生対象 230人)	
③心電図検査 (小学1年生及び中学1年生と要観察者 117人)	
④尿検査 (全学年2次検査含 553人) ⑤貧血検査 (小学6年生及び中学全学年 228人) ⑥結核検診精密検査(0人)	
2. 教職員分 (実施者数)	
①総合健診 (52人) ②胃がん検診 (29人) ③大腸がん検診 (35人) ④ストレスチェック (59人)	
3. 就学時健診 (実施者数 65人)	
視力検査・聴力検査・ことば・耳鼻科検査・眼科検査・内科検査・歯科検診 ほか	

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	法定の諸検査・検診を行い、疾患の早期発見に努めることはもちろんのこと、児童生徒及び教職員が充実した学校生活を送れるよう、保健・衛生・安全面での取り組みが必要。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	齲歯予防の取り組みでは、毎年度表彰を受賞し、DMFT指数(1人当たりむし歯数)にも効果が見える。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	歯磨きや手洗いうがいといった日々の指導により、概ね健康的に児童生徒が学校生活を営んでいる。教職員の健康診断の要精研等の精密検査受診率は100%であり、健康に対する意識の高さがうかがえる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	H28年度より教職員のストレスチェックを実施している。児童生徒及び教職員の健康管理と就学予定者の健康状況の把握のため、引き続き事業を実施する必要がある。今後教職員の長時間労働の問題について、面接指導の体制等整えていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第3節 健康教育の推進	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 2、3:小学校費、中学校費 3:教育活動推進費 1:学校管理費
教育振興計画		款	10:教育費
		項	1:教育総務費 2、3:小学校費、中学校費
		目	3:教育活動推進費 1:学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食を実施する。また学校給食を通して食への関心を高め感謝の気持ちを育み、食育を推進していく。
事業内容	○小学校2校：自校調理方式による完全給食の実施 ○中学校：民間委託による完全給食の実施 ○地産地消及び食育の推進 ○給食無償化の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	36,701	決算額	34,112	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)	給食関係委託(小・中) 1,014千円	給食業務委託(中) 13,064千円	備品購入 2,312千円	補助金 12,995千円
	臨時調理師賃金(小) 3,283千円	燃料費 845千円	給食関係消耗品等 599千円	

4. 事業の実施状況

1) 小学校：自校調理方式による完全給食(2校平均給食実施回数：184回)	○栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭や給食主任等が食と健康の保持・増進などの指導を行い栄養・食に関する正しい知識の普及に努めた。更には、食への関心の喚起、食事の重要性や食べ物を大切にする気持の育成、食物の生産・調理等に関わる人々へ感謝する心の醸成、栄養・食事の摂り方の理解を深め自ら管理する力を身につけさせる、伝統文化への理解を深めることなど、食育を推進。 ○地産地消への取り組み ○ふるさと給食の実施(年11回) ○がんばろうみんなで献立(年4回) ○絆献立(年5回) ○献立作成会議(小学校8回、中学校7回)、調理師研修会、給食主任会(2回)、給食運営委員会(2回)
2) 中学校：民間委託による完全給食の実施(給食実施回数：169回)	○栄養教諭が中心となって立てた栄養バランスのとれた献立に基づき、安全で安心な給食を提供。 ○小学校と連携した献立の実施 ○小学6年生及び中学生の児童生徒の給食無償化

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	前年度から引き続き、小中連携した献立の作成に取り組んでいる。給食だよりの発行、校内放送による食材の産地等紹介など、食育推進に向けた取り組みを展開した。また、町政60周年記念として左沢高等学校生徒による献立作成事業にも取り組んだ。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校給食法における学校給食の目標に則り、栄養バランス・伝統的な食文化への理解・食育等の面で食材補助を活用するなど適切な給食の実施ができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	地場産を使用したふるさと給食の実施など、食育の充実をはじめ、地元生産者の顔が見える安全で安心な給食が実現できている。今後は地場産品の使用量をもっと増やしていきたい。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校及び中学校の完全給食、またふるさと給食等の実施や地産地消への取り組みは今後も継続し、小・中が連携した食育の実践も引き続き取り組んでいく。また、安全安心な食の提供のため、食材の残留農薬検査や放射能検査についても実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	国際相互理解推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第4節 大江町らしい教育の推進	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 3:教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	ALT（外国語指導助手）の活動を中心に、より実践的な英語や外国文化に触れる機会を確保することにより英語教育の充実を図り、ふるさとに誇りを持ちながら国際社会に対応できるコミュニケーション能力を育成する。
事業内容	①外国語指導助手(ALT)配置事業 ②英語学習力強化事業 ③外国語指導力向上事業

3. 予算額・決算額

予算現額	8,536	決算額	8,496	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 中学生国際理解教育研修費2,547千円 外国語指導助手配置事業5,589千円(ALT分3,339千円、外国語指導員分2,250千円)				
英語技能検定手数料 258千円 英検チャレンジ支援謝礼48千円 インターナショナル・デイ開催時謝礼 33千円				

4. 事業の実施状況

①外国語指導助手配置事業 ・・・大江中:月,火,金 左沢小:水,金 本郷東小:木 ALTと外国語指導員の2名体制で英語学習を行った。学校での活動は、中学校では英語教諭の助手、小学校では、3・4年生が外国語活動として週1時間、5・6年生が外国語科として先行実施。
②英語学習力強化 英語学習力を強化するため中学生3年生の英語技能検定受験料を負担。
③中学生国際理解教育研修 中学校2年生がTGG（TOKYO GROBL GATEWAY）において1泊2日の行程で、一日英語で過ごす体験活動を行った。

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	令和2年度の新学習指導要領の全面実施に備え、今年度より先行実施として、小3・4が週1時間の外国語活動、小5・6が週2時間の外国語科を行うことができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	TGGにおける中2の体験は、生徒の英語への関心意欲を喚起することができ、県の事業で行った個人スコア型で結果が出る英語4技能検定GTECを実施したところ、トータルスコアが全国平均より高かった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ALTと外国語指導員の各学校への派遣により、児童生徒へのきめ細かな対応、ネイティブに触れる頻度の増加が可能であり、児童生徒の活動が生き生きと行われた。また、教員の外国語指導への意識が高まってきた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和2年度は小学校では新学習指導要領の全面実施の年度になることから、学習指導要領の趣旨に沿った教育活動となるよう助言支援を行っていく。中学校では来年度の新学習指導要領の全面実施に伴い、教員の外国語指導力向上のための情報提供や助言・支援を行っていく。また、学びの連続性を意識し小中7年間の外国語授業の充実を図っていく。更に、小6と中3の英語4技能検定GTECを実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢高校支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第4節 大江町らしい教育の推進 ⑥地域に根ざした左沢高校との連携	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	山形県立左沢高等学校の教育機能の充実に向けた各種支援事業
事業内容	JR左沢線を利用して通学する生徒に対し定期券購入の半額を助成し、左沢高校の活性化を図る。 就職や進学に資する資格又は免許を取得するための費用の半額を助成する。 左沢高校で生産した農産物を学校給食へ提供。 左沢高校を支援する会への助成。

3. 予算額・決算額

予算現額	2,400	決算額	2,099	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)	左沢高校支援補助金(JR)74名 1,525千円、(資格取得)98名 252千円、左沢高校を支援する会負担金 100千円 町政60周年記念事業おめでとう献立材料費 300千円、60周年記念献立開発費 7千円			

4. 事業の実施状況

○定期券の半額助成事業	1学年24名(540,680円)、2学年32名(641,850円)、3学年18名(342,770円) 合計74名(1,525,300円)
○資格取得の半額助成事業	1学年13名(25,000円)、2学年53名(135,200円)、3学年32名(91,400円) 合計98名(251,600円)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	定期券・資格取得の半額助成については、高校へ通う家庭の負担軽減が図られる。負担金は、会員から集められた資金により学校活動に有効に利用している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	定期券の半額助成は平成27年度から、資格取得の半額助成は平成30年度から始めた事業のため、今後の効果を期待したい。負担金は、例年行っており、一定の効果が得られている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	定期券・資格取得助成については、助成を実施して入学者が多くなるなどの直接的な有効性はない。次年度以降で成果を期待したい。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	左沢高校の教育機能の充実に向け、関係機関と連携しながら支援事業を推進していく。左沢高校が魅力ある学校となるよう左沢高校の活動を支援していく。資格取得補助は補助成果がつかめないため、令和2年度をめぐりに補助の制度内容を再検討する必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	幼稚園就園奨励補助事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第5節 社会の変化に対応する教育の推進 ①幼児教育の推進	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 2:事務局費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	保護者の経済的負担を軽減し、もって幼稚園教育の振興を図る。
事業内容	幼稚園就園奨励補助事業…保護者の経済的負担を軽減するため保育料等の一部を私立幼稚園が減免し、町が所得状況に応じ補助(限度額41,400～205,300円。所得制限有)。子育て支援事業…同時在園児2人目3/5,3人目以降全額補助。通園バス補助事業…町内通園保護者に通園バス利用料全額補助。私立幼稚園副食費補足給付事業…月額上限4,500円とし補助を行う(次のいずれかに該当する子ども、5歳児クラス、18歳以下の兄弟のいる3人目、一定所得以下)。子育てのための施設等利用給付費…私立幼稚園に通う満3歳以上の子どもの保育料が無償となる(保育料月額上限25,700円、預かり保育11,300円)。

3. 予算額・決算額

予算現額	16,860	決算額	16,408	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 決算額				
幼稚園就園奨励費補助金	3,276千円	子育て支援事業補助金	163千円	
私立幼稚園通園バス補助金	1,536千円	私立幼稚園副食費補足給付事業	1,035千円	
子育てのための施設等利用給付費	10,398千円			

4. 事業の実施状況

幼稚園就園奨励費補助金(該当者 園児61名)、子育て支援事業補助金(該当者 園児6名)
私立幼稚園通園バス補助金(該当者 園児51名)、私立幼稚園副食費補足給付事業(該当者 園児45名)
子育てのための施設等利用給付費(該当者 園児71名)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	幼児教育の重要性が高まっている中、幼稚園教育の振興を図ることを目的としている本事業は必要性が高いと認識している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	事業全ての該当者はかなり経済的負担軽減となっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	町内在住で私立幼稚園に就園している園児71名が給付を受けられるようになり、子育て環境の充実に寄与している。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	経済的に不安定な状況に加え、少子化が続く中で、より子育てしやすい環境を整備する一環として、幼稚園就園児童をもつ保護者への経済的支援は引き続き行っていく。令和2年度より大江幼稚園は施設型給付の対象となり、健康福祉課の管轄に移行した。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習生活自立支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第5節 社会の変化に対応する教育の推進 ②特別な支援を要する子どもたちへの教育の推進	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 3:教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	特別な支援を要する児童生徒への対応や悩みを抱える子どもの自立支援に向けた個別支援の充実を図る。
事業内容	・ 障がいや個別に支援が必要な児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな指導を行うため、学習生活指導補助員を配置する。

3. 予算額・決算額

予算現額	10,159	決算額	9,976	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 学習生活指導補助員賃金		9,976	

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習生活指導補助員の配置 * 配置校3校 * 配置人数7名 (左沢小3名、本郷東小1名、大江中3名)
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	個別に様々な課題を抱える児童生徒に対して、個に応じた支援を行うために必要な人的配置となっている。また、左沢小学校では、多人数学級があり、子供に寄り添った指導のためにも必要である。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	支援員の子どもの見方や情報が、担任にも伝えられ共有することで、子どもを多面的にとらえられ、個性に応じた指導がなされている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支援員の配置により、担任だけでない目での見守りがあり、児童生徒が安心して学習活動に取り組んでいる。また、個に応じた指導により下位層の引き上げに成果が現れている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に児童生徒を学ばせていくうえで、児童生徒への声かけやアドバイスをタイムリーに行うには、担任一人では困難である。また、通常学級の中にも特別な支援を要する子どもが増えてきており、複数の手で個に応じた指導を実践していく必要がある。さらに、担任の業務を軽減しながら教員の働き方改革を進めるうえでも支援員の力が不可欠である。このことから、今後も継続していかなければいけないと考える。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館管理運営事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第1節 生涯学習の充実による社会力の育成 1 公民館活動の充実 2 推進体制の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進の拠点としての役割が果たせるよう、中央公民館と町民ふれあい会館、克雪管理センターの管理運営を行う。
事業内容	効率的かつ適正な公民館の管理運営と、利用者ニーズに対応した施設や学習機材等の整備による利用促進を図る。

3. 予算額・決算額

予算現額	110,435	決算額	108,535	(単位：千円 千円未満四捨五入)
[中央公民館 14,201千円] 夜間及び休日の管理人配置 2,502千円、光熱水費外需用費 5,866千円、清掃外委託料 3,030千円、備品購入費 2,506千円 外 [町民ふれあい会館93,451千円] 夜間及び休日の管理人配置 3,568千円、光熱水費外需用費 7,362千円、清掃外委託料 5,379千円、工事請負費73,889千円、備品購入費2,605千円 外 [克雪管理センター883千円] 光熱水費外需用費 575千円、管理等委託料 245千円 外				

4. 事業の実施状況

夜間及び休日の管理人配置、清掃外業務委託、町民ふれあい会館空調設備整備工事費及びカーペット張替え工事 外
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	住民の多様な生涯学習活動の場として利用されている。また、新中央公民館開館に伴う町内団体使用料免除により、より快適に利用されている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	効率的かつ適正な公民館の管理運営に努めるほか、施設設備の維持修繕及び更新は、優先度の高いものから実施している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	生涯学習推進の拠点としての役割が果たされている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民ふれあい会館や克雪管理センターで、経年による施設設備の維持修繕及び更新に多額な経費が必要となっている。町民ふれあい会館については、ふれあい広場のリニューアルについても検討委員会を設置し検討する。 今後も、利用者の安全と利便性を基本に計画的な維持修繕及び更新、管理運営に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第1節 生涯学習の充実による社会力の育成 1 公民館活動の充実 2 推進体制の充実 第3節 家庭・幼児教育の充実 1 親の学習機会の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進に向け、住民の主体的な活動を支援するため学びのきっかけづくりを行う。
事業内容	人生の各ステージにおける学びの場の設定と各種団体等の活動支援、生涯学習に関する情報提供。 家庭教育に関する学習機会の提供。 A L Tを活用した学習機会の提供。イベントを通じた住民活動の発表機会の提供。 教育文化振興基金を活用したコンサートの実施[60周年記念事業]

3. 予算額・決算額

予算現額	15,487	決算額	14,952	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置1,464千円、講師謝礼等報償費933千円、事業用消耗品外需用費251千円、生涯学習カレンダー等印刷製本費902千円、演奏音楽会出演委託料2,211千円、公民館総合補償制度加入保険料 172千円、文化祭共催負担金 500千円、手作り工芸まつり負担金 200千円、山響負担金 89千円、舟唄太鼓の会活動補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金290千円 自治公民館整備費補助金7,400千円外				

4. 事業の実施状況

英会話 (17回、登録17人、延93人)、シルバー講座 (学習講座4回、館外研修1回、登録40人、延124人)、おらだのまち探訪 (4回、登録22人、延70人)、女子カアップ講座 (5回、登録32人、延127人)、まちづくり出前講座 (7件、120人)、フリープラン講座 (20回、392人)、生涯学習カレンダー・生涯学習のすすめ・お知らせ版「生涯学習のひろば」を活用した情報提供、あじさい手作り工芸まつり (39団体出展、来場者750人)、町民ふれあい会館ホワイエ展示10団体、教育文化振興基金活用事業[60周年記念事業] (木村大・榊原大セレブレーションコンサート・来場者213名、フルーツ4重奏のタベ・来場者180名) 外
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	参加者による運営委員会を設置し、ニーズを踏まえた内容の学習機会を設け実施している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種教室、講座等については、参加者より参加料を負担していただき、効率的に開催している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各種教室、講座等に参加者自ら意欲的に参加し、学びのきっかけづくりとなっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	成人、女性の学びのきっかけづくりとして、おらだのまち探訪、女子カアップ等の講座、並びに高齢者の学びの場としてシルバー講座を引き続き実施した。H29年度に生涯学習の充実、居場所づくり、出番づくりの場を創出する「おおえ町民大学ぶくらすカレッジ」を開校し、各種講座を引き続き実施した。また、団体やグループ、地域の学習機会をつくるため、「まちづくり出前講座」「フリープラン講座」の充実を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第2節 読書活動の推進 1 読書活動の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 図書館費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	読書に親しむことにより豊かな心を育み、より深く生きる力を身につけ地域社会に温かい絆を広げていくため、施設・蔵書・図書活動の充実を図る。
事業内容	図書購入、図書貸出返却等整理作業、企画展示（毎月）、レファレンス業務、パスファインダーの作成おはなしボランティア活動（全12回）、おおえ図書館倶楽部との共同企画実施、オリジナル絵本製作[60周年記念事業]

3. 予算額・決算額

予算現額	9,447	決算額	9,174	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考）				
臨時雇賃金4,501千円、図書購入 1,533千円、雑誌購入等需用費501千円、 蔵書管理システム借上料等 1,750千円 ボランティアサークル活動補助金 60千円、オリジナル絵本外印刷代617千円 外				

4. 事業の実施状況

	R1 図書購入1,209冊・寄贈本登録冊数 639冊 R2. 3月末現在図書蔵書数 35,876冊 R1 図書貸出冊数13,875冊（一般書7,448冊 児童書6,072冊 雑誌311冊 視聴覚資料（DVD等）44冊） R1 図書館利用者カード登録者数 1,819人 R2. 3月末図書の整理と貸出、レファレンス業務（図書臨時職員 3名） おはなし会の実施（12回、いとぐるま、毎月第4土曜日） オリジナル絵本製作[60周年記念事業] 750冊
--	---

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の図書館に対するニーズに対応できるよう図書館協議会を設置した。地域に根差した図書館として、社会情勢の変化に対応し、また歴史や文化に関する資料も充実している。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一般書・児童書ともに計画的に購入を行うとともに、ボランティアによるおはなし会の実施や図書の整理等を行った。また、蔵書管理システムの導入により、セルフ貸出や図書館のホームページ開設を行っている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	蔵書管理システムの導入、蔵書の充実、図書の適正な整理などを実施し、利用者の利便性の向上を図っている。また、図書館を支援するボランティアサークル「おおえ図書館倶楽部」の方々による図書館まつりの実施など主体的な住民の関わりを得ることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	図書館協議会設置により町民の学習要求に応えられる開かれた運営を目指し、多様化する町民のニーズに対応できる蔵書及び雑誌等の充実、レファレンスサービス、季節に合わせた企画展示等各年齢層に対する多様なサービスを提供していく。また、図書館に足を運ばない方が来館したくなるような企画展示の実施及び周知、並びに学習のニーズに対応できる蔵書の充実化等を実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子どもプラン推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2編 施策の方針 第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第4節 地域における子育て環境の充実	予算科目	10:教育費 4:社会教育費 1:社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	小学生の児童を対象に多彩な「体験教室」を行い、体験を通して子どもたちの豊かな情操、社会力を育む環境づくりを推進する。
事業内容	放課後や週末、夏季等学校長期休業中に、体験型の多彩な教室を開催する放課後子ども教室を実施し、町の将来を担う子ども達の豊かな情操、社会力を育む。

3. 予算額・決算額

予算現額	3,416	決算額	3,340	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置 1,464千円、運営委員・教育活動推進員・教育活動サポーター報償 1,175千円 外 補助対象経費1,212千円に対して、国1/3、県1/3、計807千円の補助を受けて実施。 運営委員9人、協働活動支援員28人、協働活動サポーター41人 体験型教室参加児童実人員280人【手芸教室(10回、延べ144人)、運動教室(20回、延べ130人)、料理教室(6回、延べ107人)、英語教室(10回、延べ59人)、自然体験塾(3回、延べ73人)、理科教室(3回、18人)、陶芸教室(2回、20人)、野外宿泊体験(1回、20人)、書道教室(35回、登録者77人、延べ1,989人)、出前運動教室(1回、40人)】				

4. 事業の実施状況

定期的に手芸、料理、英語、運動、自然体験等の体験教室を実施。多彩な学習の場を提供し、多くの子どもの興味を引くことができるよう実施した。

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	放課後の子ども達の学習の場として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町民の方々から、持っている能力を活かした有償ボランティアの教育活動推進員、教育活動サポーターとして協力をいただき開催できている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多彩な教室を開催し、子ども達へ選択肢を広げている。教育活動推進員、教育活動サポーターの意欲、参加者の好奇心の向上がみられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	放課後子ども教室の実施にあたっては、協働活動支援員、協働活動サポーターの協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め、教室の内容も検討し新しい内容も取り入れながら今後も事業の充実を図りながら継続していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第1節 芸術文化の振興 ①芸術文化活動の充実	予算科目	10:教育費 04:社会教育費 02:公民館費

2. 事業の概要

事業目的	文化事業の開催や芸術文化団体への支援により、町の芸術文化の振興を図る。
事業内容	教育文化振興基金活用事業、文化祭、芸術文化団体への支援

3. 予算額・決算額

予算現額	3,170	決算額	3,170	(単位:千円 千円未満四捨五入)
-------------	-------	------------	-------	------------------

(備考)

※予算額・決算額は、10.4.2.02「生涯学習推進事業」の内数である。

文化祭共催事業負担金 500千円、山形交響楽協会負担金89千円、 おおえ舟唄太鼓の会補助金 80千円

芸術文化団体協議会補助金 290千円、演奏音楽会出演委託料 2,211千円、

4. 事業の実施状況

<p>文化祭：11月2日から4日の3日間、中央公民館・ふれあい会館、延べ2,590人の参観 芸術文化団体協議会50周年記念誌を発行（500部作成） 芸術文化団体への支援として負担金補助金の交付（山響、舟唄太鼓の会、芸文協） 大江町誕生60周年記念ふれあい芸術コンサートの開催（木村大・榊原大セレブレーションコンサート・来場者213名、フルート4重奏のタベ・来場者180名）</p>

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	昔の文化祭（ひなまつりコンサート）は新型コロナウイルスの影響により中止となってしまったが、文化祭の開催及び教育文化振興基金を活用しコンサート[60周年記念事業]を実施したことにより多くの町民が参観し、芸術文化に触れる機会を設けることができた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	文化祭や芸術コンサートを通し、町民が芸術文化に触れる機会を得られた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多くの参観者に芸術文化を公開し、また、情報を発信することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	芸術文化団体協議会は会員の減少等の課題はあるが、団体の支援・育成により今後とも芸術文化の振興を図る。また、芸術文化イベント及びコンサート等を開催し本格的な芸術文化に触れる機会を創出する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ① 文化財の保存・整備	予算科目	10:教育費 04:社会教育費 05:文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保護・活用及び郷土芸能継承団体への支援により町民の文化振興を図る。
事業内容	文化財の管理・活用 郷土芸能継承団体育成のための補助金交付、指定文化財管理のための補助金交付 歴史民俗資料館の管理と活用事業の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	2,413	決算額	2,074	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 文化財保護委員報酬 160千円、指定文化財管理補助金 70千円、郷土芸能伝承補助金 160千円、郷土芸能団体育成補助金 40千円、歴史民俗資料館管理・活用に係る経費 1,644千円 (賃金 542千円、謝礼 219千円、光熱水費 325千円、警備委託料 192千円 外)				

4. 事業の実施状況

文化財保護委員会の開催 (1回、委員5名)、指定文化財補助金交付 (県3、町4)、郷土芸能継承団体補助金交付 (8団体) 歴史民俗資料館活用事業 (入館利用者数・1,402人) 文化祭協賛行事 伝統食のつどい (11/2) 83名参加 小正月行事 (1/12) 52名参加 ひなまつり (コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	郷土芸能伝承のための事業を実施する団体に対し補助し育成に取り組んだ。歴史民俗資料館については、主催事業のほか各種団体にも活用されており、町文化財の周知につながっている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存団体や指定文化財管理者への補助金を交付することで、団体または管理者が保存、保護を行うことにより適正な伝承、管理が行われている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存経費の一部を補助することにより各種団体による保存・伝承をしていたが、昨年度2団体が活動を休止してしまった。指定文化財は管理者への補助金交付により適正な管理が行われている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財や伝統芸能は失くしてしまえば元に戻すことは容易なことではないため、更なる支援の拡充を図り、今後とも新たな町指定物件の追加を含めた文化財の保護・活用を推進し、町の歴史・文化を次世代に伝えていくこととする。郷土芸能団体について、昨年度2団体が活動を休止してしまうこととなった。今後伝承団体としてどのような支援が必要であるか等、課題を共有しながら支援方策等の対応を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢楯山城跡保存整備事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ① 文化財の保存・整備	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	史跡「左沢楯山城跡」の保存・整備及び利活用により町づくりに資する。
事業内容	・史跡「左沢楯山城跡」の第1期整備事業及び整備に伴う発掘調査、第1期整備工事の実施 ・第2期整備を目的とした発掘調査の実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	57,553	決算額	56,724	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 発掘調査作業員賃金 1,459千円、整備検討委員会委員等報償・旅費 366千円、発掘調査測量委託料 2,281千円、第1期整備事業修正及び追加設計業務委託料 2,399千円、樹木伐採業務委託料 1,881千円、第1期整備工事 47,154千円、機械等借上料 255千円、原材料費 79千円、消耗品費 225千円、印刷製本費 253千円 外				

4. 事業の実施状況

保存整備検討委員会の開催（4回）、史跡保存管理（日常維持管理）、 発掘調査（寺屋敷上部曲輪・広場整備予定地・八幡平）、発掘調査測量業務委託、第1期整備工事、 第1期整備事業修正及び追加設計業務委託、樹木伐採業務委託

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の誇りである国指定史跡「左沢楯山城跡」の今後の管理や整備を推進するため、第1期整備事業を推進した。また、第2期整備のための発掘調査を実施した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	広場整備予定地及び八幡平、第2期整備を目的とした発掘調査、第1期整備事業として整備工事と樹木伐採業務を実施した。整備工事の一部が完了、供用開始したことにより、町民から喜びの声が寄せられている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	文化財として保護を図るため、保存管理計画に基づき適正な管理を行った。また、第2期保存整備を目的とした発掘調査も推進することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、保存整備検討委員会等を開催しながら、第1期整備事業を実施していくとともに、令和4年度からを予定している第2期整備に向けた発掘調査を実施しながら史跡「左沢楯山城跡」の保存及び整備を推進する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化的景観推進事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ② 文化財の活用	予算科目	10:教育費 04:社会教育費 05:文化財保護費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	国の選定を受けた重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の保護と活用を図る。
事業内容	重要な構成要素「清野家」の修繕工事及び「富士屋」修繕に係る間接補助の実施 文化的景観を活用したまちづくりに関する事業を検討するための「文化的景観保存整備検討委員会」の開催 文化的景観の理解を深め、活用していくためのワークショップの実施 全国文化的景観地区連絡協議会総会及び大江大会の開催

3. 予算額・決算額

予算現額	24,620	決算額	23,964	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
保存整備検討委員会委員等報償・旅費 508千円、ワークショップ謝礼 40千円、 清野家工事監理業務委託料 880千円、整備計画2策定業務委託料 3,740千円、清野家修繕工事費 16,185千円、 富士屋整備事業費補助金 1,878千円、消耗品費 79千円、印刷製本費 426千円 外 全文景協大江大会会計 1,153千円 (別途会計)				

4. 事業の実施状況

文化的景観保存整備検討委員会の開催(2回)、文化的景観保存整備検討委員会建築部会の開催(1回)、 文化的景観保存整備検討委員会サイン部会の開催(7回)、文化的景観ワークショップの開催(1回)、 整備計画2策定業務委託、重要な構成要素「清野家」補修工事及び「清野家」工事監理業務の実施、 「富士屋」修繕に係る間接補助の実施 19道府県31市町村から大会約150名、視察約100名参加 10/9~11
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、地域で誇り、次世代へと継承していくことができる。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	整備計画書1に基づき、国・県の補助を受けて「清野家」の補修工事及び工事監理業務、整備計画2策定業務委託、「富士屋」修繕に係る間接補助を実施した。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	「最上川の流通・往来及び左沢の町場の景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定され、事業を推進することにより、町内外に広く文化的景観の町であることをアピールできた。また、今年度は大江大会も開催することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気が付きにくいものである。国の重要文化的景観選定を受け、今後、これをどのようにまちづくりへと活かしていくか、町民の誇りと意識を高め、次世代へと継承していくことができるかを検討する必要がある。事業の具体的な進め方としては整備計画1に基づく重要な構成要素(建築物)の保存整備と合わせ、整備計画2を策定してサイン等(案内看板等)の整備を進めていくほか、ワークショップなどのソフト事業も推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育振興事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健康と元気を創る生涯スポーツの推進 第1節 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 第3節 スポーツ環境の充実	予算科目	10 教育費
教育振興計画			5 保健体育費
			1 保健体育総務費
			2 体育施設費

2. 事業の概要

事業目的	多様なニーズに対応できる体系を構築し、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ活動を推進する。
事業内容	指導体制の充実 ニュースポーツ及びレクリエーション活動の推進 駅伝及び剣道競技の強化支援 全国大会出場選手への激励金交付

3. 予算額・決算額

予算現額	6,290	決算額	5,804	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スポーツ推進委員報償費165	社会体育推進員138	全国大会出場激励金交付130		
小鳥山スキー教室及び駅伝指導者謝礼46	左沢高校剣道部育成補助金200			
体育施設工事費3,689	体育施設備品購入費661			
多目的交流広場管理委託料775				

4. 事業の実施状況

<p>スポーツ推進委員11名委嘱、社会体育推進員55名委嘱、全国大会出場者(延べ13個人)へ激励金交付、小鳥山スキー教室は雪不足のため不開催、駅伝指導者謝礼(地区駅伝6名・Jr駅伝8名の監督、コーチに謝礼支払)</p> <p>体育センタートイレ改修工事、蛍水運動公園・森ノ宮公園管理委託</p>

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか <input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	地区や学校関連団体より、年間を通じた子どもたちの体育環境の提供に依ることから、気軽楽しめるスポーツ環境の提供を継続していきたい。
効率性	経費に見合った効果が得られているか <input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	スポーツ推進委員や社会体育推進員及び各種団体と連携して事業展開を行うことにより、事業効率を上げることができた。
有効性	期待された成果は得られたか <input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	既存の施設を有効活用できる事業展開に、一定の成果が得られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	体育協会等スポーツ各種団体と連携を図りながら、ニュースポーツを中心に多くの住民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進し、健康づくりと地域コミュニケーションの観点から事業を展開する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ団体育成事業	所管課・係	教育文化課	
			スポーツ振興係	
施策体系	第4章 健康と元気を創る生涯スポーツの推進 第1節 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 第2節 スポーツ団体の育成・支援	予算科目	10 教育費	
教育振興計画			5 保健体育費	
			1 保健体育総務費	

2. 事業の概要

事業目的	スポーツ団体及び、総合型地域スポーツクラブの活動支援をおこなう
事業内容	スポーツクラブ活動の支援 スポーツ振興基金を運用した競技団体の活性化事業 体育協会の活性化、スポーツ大会の充実のための支援と加盟団体等の活動支援

3. 予算額・決算額

予算現額	6,360	決算額	6,360	(単位：千円 千円未満四捨五入)
総合型地域スポーツクラブ補助金2,000 体育協会補助金4,310 競技団体活性化補助金50				

4. 事業の実施状況

総合型地域スポーツクラブ0-STEP事業 フィットネス、ヨガ、太極拳教室等通年教室が7教室、テニス、サッカー教室等の季節教室が5教室、計12教室を実施し、会員数は126名、延べ3,143名の参加があった。	
団体活性化補助金(スポ少1団体)	
体育協会主催事業(ソフトボール5/26 23チーム、舟唄健康マラソン6/23 321名、縦断駅伝10/13 台風のため中止、つなひき1/26 13チーム)	

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか <input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	総合型地域スポーツクラブ0-STEPの活動がスタートし8年目にあたるが、町民の多様なニーズに応えるべく運営が行われている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか <input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られてい <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種イベントでは、一部内容の見直し等により、集客に一定の効果が得られた。また自分達で事業を運営することにより予算を効率的に執行している。
有効性	期待された成果は得られたか <input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	0-STEP事業では会員数及び教室への参加者も定着し、リピーターを得ることができた。各世代層の会員の確保ができています。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	既存団体や総合型地域スポーツクラブの活動へ引き続き支援を行うとともに、幅広いニーズに対応する教室が定着しつつあるので、会員増加に繋がるように周知広報を充実すると共に、今まで培ってきた人的財産を有効に活用できるような各種団体との関係を築き上げていきたい。

教育委員会事務事業点検・評価報告書（令和元年度分）

令和2年9月

大江町教育委員会 教育文化課

〒990-1163

山形県西村山郡大江町大字本郷丁 373 番地の1

TEL : 0237-62-2270、3666（代表） FAX : 0237-62-3667